

指定管理施設事業評価票(令和5年度分)

1. 施設所管課

教育委員会事務局中央公民館

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市今市文化会館		
	所在地	日光市平ヶ崎160番地		
指定管理者	名称	一般社団法人日光市公共施設振興公社		
	代表者名	代表理事 斎藤 信義		
住所	日光市瀬尾1640番地22			
指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日			3年間
選定方法	公募	・ <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	評価実施年	3年間のうち 2年目
施設設置目的	市民の福祉の増進及び文化の向上を図るため、文化会館を設置する。			
主な実施事業	市民が文化等を享受することにより教養を高め、文化活動を通じて自らの生活の向上を図り、もって地域社会の発展と社会福祉の増進に寄与するための文化事業を行う。 ・文化事業の企画、実施に関する業務(指定事業、共催事業、自主事業) ・施設の使用許可に関する業務 ・施設の維持管理、運営に関する業務			

3. 利用状況(目標と実績)

	成果指標	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		目標	実績
			目標	実績	目標	実績	目標	実績		
a	入場者数	人	45,600	16,460	45,600	19,984				
b	事業実施回数	回	13	11	13	11				
c	施設稼働率	%	50	33	50	41				
d	施設利用者満足度	%	80	99.7	82	99.3				
e	コスト削減率	%	97	91.2	97	94.9				

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
収入計 A	78,104,162	77,646,212	0	0	0
指定管理料	77,682,200	77,269,607			
利用料収入	C				
自主事業収入	388,372	370,185			
その他	33,590	6,420			
支出計 B	73,596,483	77,115,273	0	0	0
指定事業費	72,545,097	75,270,131			
内人件費 D	22,751,864	21,861,393			
内外部委託費 E					
自主事業費	1,051,386	1,845,142			
事業収支 A-B	4,507,679	530,939	0	0	0
人件費率 D/B	30.91%	28.35%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	0.00%	0.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
※着色セルは、自動計算としている。					
補足説明		指定事業が実施出来なかったことによる費用精算により、指定管理料収入の内、指定事業予算3,969,000円を減額。			
		燃料費・電気料の高騰による物価高騰支援金2,096,607円を補填。			
		施設老朽化に伴う安全強化を図る緊急安全対策に対する指定管理料4,282,000円			

サービス改善の状況

コロナ感染症収束以降も、感染防止対策(換気・除菌・消毒液常設)に取組み、集客施設として利用者の感染防止に努めている。
市民文化団体、学校等による文化活動の発表の機会において、舞台設営、運営に協力して取り組んだ。
開館時前の時間外の利用者への対応に努め、利便性向上に継続して取り組んだ。
老朽化に伴う設備トラブル回避のために、舞台運営設備機構メンテナンス業務に徹底して取り組んだ。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B B A	B B A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B A	B B A
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		
	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	A A	A B
② サービスの 質の 評価	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A A A	A A A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B B B	B B B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A A B	A A B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A B	A B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	C	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価) ○座席定員を50%に制限、並びに開館時間に制限している事などにより、利用者満足度以外は目標に届いていない。 ○老朽化した施設において施設運営を継続するため、緊急安全対策業務として不良箇所の早期発見、迅速な修繕対応に務めた。 ○独自の利用制限によりコロナ禍以前のようには利用できないが、専門家の舞台技術者を無償配置するなど、利用者サービスに努め、運営に対して大変良い評価を得る事が出来た。 (所管課評価) ○老朽化により利用制限をしている中で、工夫して運営したことにより、目標値には届かなかったものの、前年に比べて利用者は増加していた。 ○施設の老朽化で各所に故障や不具合が生じる中で、施設や設備の日常的に点検を強化することで早期発見し、迅速な修繕対応等へ繋げた。 今後も老朽化に伴う修繕必要箇所の拡大は避けられないため、継続して注視し、不備の早期解消を図る必要がある。 ○アンケートでも利用者満足度が99.3%と高水準であるので、事業や賃貸における対応への評価がうかがえる。		
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価 A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。	B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。	C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。		
	※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。	
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上	